

新シリーズ

輝く先輩②

# 学校職員か？ 植木屋か？ 2つの夢にこだわる『職人』

テクノホルティ園芸専門学校職員 **関口 裕介さん** (法学部 2003年度卒業)

## 現在

私は現在、埼玉県の行田市にあるテクノホルティ園芸専門学校で造園コースの職員として働いています。私の仕事は、「造園」の仕事を目指して入学してきた学生を庭師の卵として即戦力に育て上げ、現場に送り出すことです。とは言うまでもまだ私の実力だけでは現場の即戦力を育成するには不十分です。実質的な私の仕事は「庭師の卵を育成する現役の庭師」の先生方のお手伝い、といったところです。

仕事の内容は、先生方の助手として授業準備とテコ（補助）、樹木や庭園の管理など、職人としての作業が中心ですが、それ以外にも学生とのコミュニケーション、出席や成績の管理、行事の準備、企業や研修先への挨拶回り等、学校職員としての仕事も多くあります。

正直、苦手なデスクワークを同僚の先生方に助けていただきながらこなし、隙を見れば職員室を脱け出して外仕事でリフレッシュする日々です。



## 現在の仕事に就いたきっかけ

在学中から知り合いの植木屋でアルバイトをさせてもらっていたのがそもそものきっかけです。当時は、植木屋という職業に何の関心も持っていませんでした。

しかし今思えば、アルバイト時代から私のことをきちんと叱ってくれた親方の存在があってこそ、植木屋に執着を持てたのだと考えています。その後、植木屋でアルバイトを続けながら就職活動を始めました。

しかし何の職に就いたらいいかわからず「学校で働けたら面白そう」と安易な考えで、形はどうあれ「学校で仕事をする」という職種に絞って就職活動を行いました。その結果、都内の某専門学校の職員として内定をいただきました。その学校は「造園」とは無縁の専門学校で4月7日からの採用が決まりました。が、いざ自分が造園業を

きっぱり捨てられるかという迷いが生じてしまい、悩みに悩みましたが結論は出せず、4月7日の朝に親方と内定先の両方に頭を下げて、私は植木屋になりました。

正社員として3年半が過ぎた頃、実家の近くに園芸専門学校があることと、求人募集をしていることを知りました。「学校で働く」ことに未練を持っていた私は親方に相談し、話し合いの上「今後も職人として向上心を持ち続けること」を条件に了承をいただき現在の職に就きました。



## 仕事の魅力

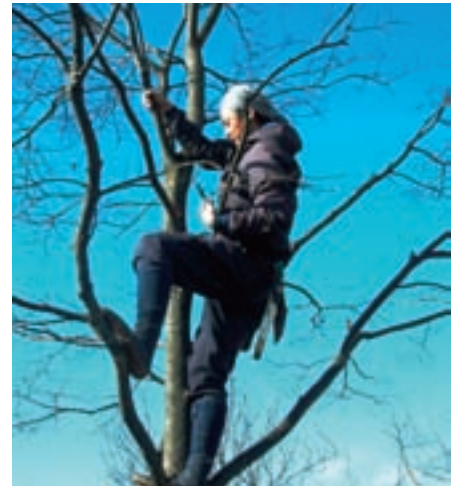
まずは学生に頼られることです。学生が、わからないことや出来ないことを相談してくれるという行動には「先生ならなんとかしてくれる」という学生からのメッセージと期待を感じます。自分に期待してくれる存在がたくさんいるというのは素直に嬉しいです。

また、職人としていい出会いがたくさんあります。本当に尊敬できる人との出会いもありました。全国でも有名な親方や、現役の庭師さん、同年代で活躍している職人さんと話し、テコを務めさせていただくことは、職人としてまだまだ狭い私の視野を拡げてくれます。しかしそれは時に、自分の実力不足を痛感することでもあり、学生に対しても「出来ない」「知らない」を言えない環境は、プレッシャーと葛藤そして勉強の毎日です。ですが自分よりもはるかに高い技術を持つ職人に囲まれた現在の環境は、日々自分を戒めてくれると同時に、向上心を促してくれます。そしてなにより、「謙虚であれ」と常に言い聞かせてくれます。

## 今後の夢、目標

私は現場における自分の仕事を、「学校の先生の仕事」と思われたくありません。正直を言えば「先生」と呼ばれることに多少し抵抗があります。

今の職場にいる私は、現場の職人から見



れば所詮は「学校の先生」であり、職人には及ばないと思われがちです。しかし実際には下手な植木屋には負けているとは思っていません。学校に勤めていても職人でもやって行くと覚悟した以上、貪欲に職人としての技術と知識のレベルアップに努めていきます。「本職の植木屋さんじゃなくて、学校の先生が？」と言われるような仕事を残していくのが今後の目標です。

## 在学生へのメッセージ

先輩に、また先生になって初めて、当時の先輩や先生がくれた言葉の重さを痛感しています。でも自分がそうだったように学生のみなさんも、真面目なアドバイスなんて、ありがたいとは思うけど煙たくて聞き入れられないのが正直なところだと思います。

ただ最近になって改めて実感するのは、「教わりたい」「できるようにになりたい」と思う人間に、かつてその道を通った先輩は、冗談はいうが決して嘘はつかないということ。

「本気の先人の言葉は正しい」と言うことです。年月を経て失敗や成功をしたときに「あの時のあの言葉は本当だった」と実感し、それを自分の言葉としてまた後輩に伝え、極まれにその言葉を素直に実践した誰かが得をする、私はそれで良いと思います。

## Profile

### ■ せきぐちゆうすけ

1981年、埼玉県生まれ。  
私立本庄東高校卒業。  
法学部法律学科2003年度卒業生。

